

JLEM NEWS LETTER Vol.24



第29回日本語教育方法研究会開催

発表 33 件 参加者 110 名
第 30 回は東京国際大学にて

2007年9月22日(土)、第29回日本語教育方法研究会が京都教育大学で開催されました。発表件数は33件、参加者は110名でした。

浜田麻里先生はじめ、京都教育大学の皆さま、大変お世話になりました。ありがとうございました。

また、前日9月16日に運営委員会が開かれ、さまざまな報告・審議がされました。詳細については、このレターの記事をご覧ください。

次回の研究会は、2008年3月15日(土)東京国際大学において開かれます。みなさまふるってご参加ください。

なお、発表申込締め切りは2008年1月8日(火)、原稿提出締め切りは2008年2月8日(金)です。申込方法については、同封いたしました別紙要項をお読みください。

開催を終えて
浜田麻里
(京都教育大学)

さる9月22日(土)、京都教育大学で第29回研究会が行われました。関西地域での開催は第11回(1998年秋)の同志社女子大学以来、なんと9年ぶりになります。

会場をお引き受けしたものの、京都教

育大学は設備も十分ではありませんし、大学院に日本語教育の専攻がないためスタッフも限られています。本当にやり遂げられるのだろうか…会が終わるまで心配の連続でした。

しかし、当日は110人の方が参加され、31人の方が新たに会員に加わってくださいました。これまで関西でなじみの薄かったこの会を関西の方々を知っていただけたことは大きな収穫でした。

また会員のみなさんのご協力のおかげで、会場の設営から後片付けに至るまで、大過なく会を終えることができました。JLEMがモットーとする「みんなで作る手作りの会」の大切さを再確認することができました。みなさんのご協力に改めて感謝申し上げます。

次回開催にあたって
川村よし子
(東京国際大学)

今回のJLEMは3月15日(土曜日)に、東京国際大学で開かれることになりました。皆様にお会いできるのを楽しみにしております。東京国際大学は埼玉県川越市にあります。最寄駅は東武東上線の「霞が関」で、池袋から急行で35分です。(都内の「霞ヶ関」ではありませんので、どうぞお間違えのなきよう!)

川越市は、埼玉県西部に位置する人口33万人の都市ですが、「小江戸」とも呼ばれ、蔵作りの街並みが残っています。遠くからお越しいただく皆様、もしお時間がおありのようでしたら、JLEMの翌日にも、隣の駅の川越市まで足を伸ばして、観光もお楽しみください。会場に観光パンフレットを用意して、お待ちしております。

初めて研究会に参加して
大西由美
(北海道大学大学院生)

今年度入会し、研究会に始めて参加、発表させていただきました。

様々な領域の研究に触れることができ、大変充実した一日となりました。

他の方のポスター発表では、私の知識不足と慣れぬゆえ、的確に質問できなかったのですが、丁寧にお答えいただいたおかげで理解を深めることができました。

これからも研究を続け、再び研究会で発表できるよう努力したいと思います。

ご意見、ご指導いただきありがとうございました。

運営委員会報告

第29回大会前日の9月21日18時より、京都教育大学にて運営委員会を行いました。主な審議内容は以下のとおりです。

(1) 第30回大会とその後の予定

第30回大会は、2008年3月15日(土)

に東京国際大学（埼玉県川越市）で開催します。それ以降の開催地は、次のような予定になっています。日程などの詳細が決まりましたら、ホームページなどでお知らせします。

第31回 2008年9月

愛媛大学（松山市）

第32回 2009年3月

神奈川大学（横浜市）

（2）会誌バックナンバーの電子化について

運営委員会の下にワーキンググループを作って、電子化の方法・範囲・費用などについての検討をお願いしています。前回ニュースレターには、PDF化にどれくらい費用がかかるかを検討する、とありましたが、CD-ROM化やウェブ化についても費用の見積りや、条件を考えていただいています。運営委員会では中間報告を受けて、バックナンバーだけでなく、今後の会誌のあり方も含めて、種々議論しました。

結論はまだ出ていませんが、現在のところ、以下のことが確認されています。

- 1) 当分の間は冊子体で会誌を作り、事前に会員に送付するという現行方式を維持する。
- 2) 残部のないバックナンバーについては、精度の高いスキャナで取り込み、電子データを作る作業を行っておく。

なお、ワーキンググループには、引き続きの検討をお願いしてあります。
(文責：才田いづみ)

事務局よりご連絡

(1) 会誌原稿のフォーマットが改訂されました。2008年3月の大会会誌原稿よ

りそのフォーマットに合わせて執筆していただきます。詳しい内容は1月中旬にお送りする執筆要項と一緒にお知らせいたします。

(2) 「会誌の電子化」(2007年3月17日総会承認済)を進めております。2008年3月の会誌掲載分より、原稿のご提出と同時に、電子化の「許諾書」のご記入とご提出をお願いすることとなりました。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

運営委員を募集いたします

運営委員の交代は運営委員会・総会でも議論されていますが、会を支えてくださる方を募集中です。お気軽に、ぜひ、事務局までご一報くださいませ。

会員情報担当委員からのお願い

早稲田大学で開催された研究会で以下の方が入会申込をされ、会費も納入いただきましたが、申込書を受け取れなかったため、連絡先、所属先も不明となっております。この方をご存じの方はぜひ JLEM 事務局までご連絡ください。

橋本和幸(はしもとかずゆき)様

また、以下の13名の方への郵送物が転居先不明、または宛て所に該当なしという理由で返送されてきています。該当する方のご連絡先をご存じの方もぜひご連絡ください。

鈴木 美加様／菅原 幸子様／三井 豊子様／戸次 徳久様／桜木 ともみ

様／北川 幸子様／池田 恵様／橋本 優香様／山田 久美子様／橋本 信作様／岩井 五郎様／杉森 弘太郎様／松浦 真理子様／

(会員情報担当委員 衣川隆生)

会費納入について

今年度の会費の納入をお願いいたします。過去の会費をお支払いいただいていない方も納入をお願いいたします。JLEM の会計年度は1月から12月です。会費を2年間未納の場合は自動的に除名となりますが、除名後に再入会なさる場合には過去の未納分をお支払いいただきました上で手続きとなりますので、宜しくをお願いいたします。

(事務局 名嶋義直)

振込先：(郵便局)

記号 10140

番号 69076511

加入者：日本語教育方法研究会

* ご注意

この口座は電信払込しかご利用いただけません。氏名を先に御入力ください。印字の都合上、ご所属のみしか届かず、お名前が不明になる場合があります。

会費は3000円です。

2年間未納の場合は自動的に除名となります。

(編集 小林由子)

日本語教育方法研究会

ホームページアドレス：

<http://www.jlem.info/>